

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	情報科教育法II		
英文授業科目名	Educational Methods for Information Studies II		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	江木 啓訓		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
emis2@egilab.net	追ってアナウンスする

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題:</p> <p>この授業では、情報科教育法IIに続いて教科「情報」の教員に必要な情報リテラシーとスキルを習得する。教員を目指す履修者自身が情報コミュニケーション技術の内容を理解し、問題発見と解決のための計画立案と実施を行うとともに、情報メディアの特性を生かした指導法を実践できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>(b) 達成目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科「情報」の設置理念を踏まえ、授業の工夫、児童・生徒の観察力、指導力を身に付ける。 ・自己学習する教員に必要な、問題発見、問題認識、解決計画立案、実施方法の整理、実施、分析、改善、評価、報告、議論といった、情動的な問題解決力を身に付ける。

【前もって履修しておくべき科目】
情報科教育法I

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
情報科に関連する「教科に関する科目」と「教職に関する科目」

【教科書等】

<教科書>

文部省 職業教育課・高等学校課編集『高等学校学習指導要領解説 情報編』開隆堂出版

<参考書>

- ・岡本・西野・香山編著『情報科教育法』丸善 2002
- ・岡本・西野編著『情報教育の学習評価』丸善 2004

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

普通教科「情報」の教育課程編成と指導法
専門教科「情報」の教育課程編成と指導法
年間指導計画の作成と目標分析
単元の展開、課題の発想と教材化
模擬授業と相互評価

(b) 授業の進め方：

履修人数によっては進め方を変更することがある。
情報教育にかかわる研究や先進的技術の紹介を適宜行う。

- [1] 教科「情報」の目標と課程構成
- [2] 授業形態の分析と編成
- [3] 年間指導計画の作成
- [4] 教科「情報」の指導法
- [5] 教科「情報」の実習設計
- [6] 指導案の作成
- [7] 情報メディアの活用
- [8] 問題発見・解決型授業の工夫
- [9] 課題設定と教材の作成
- [10] より良い授業のための自己点検と相互評価
- [11] 模擬授業と相互評価(1)
- [12] 模擬授業と相互評価(2)
- [13] 模擬授業と相互評価(3)
- [14] 模擬授業と相互評価(4)
- [15] 模擬授業と相互評価(5)

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

教科「情報」を指導する教員に必要な能力とスキルを身につけるため、指導計画や指導案、教材の作成と分析などの学習と、後半で行う模擬授業のための準備を行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 成績評価方法： 毎回の出席点(10%)、指導計画・指導案の演習レポート(合計30%)、模擬授業(20%)、学生間相互評価(10%)、および最終レポート(30%)

(b) 評価基準：作成した指導計画や指導案とその考察をレポートとして評価する。自身の内容とその分析だけでなく、他者の授業や教材に対する評価姿勢と内容を勧案する。

【オフィスアワー：授業相談】

・授業後に申し出るか、または電子メールで問い合わせる。

【学生へのメッセージ】

教科「情報」の設置理念を理解し、指導案の作成と模擬授業に対して主体的に取り組んでもらいたい。

【その他】

特になし